

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	教育推進部 教育センター
評価シート作成者	所長 中林 由美子

評価対象施策目標（一課かい目標） **9 子どもの健やかな育ちを促す教育を研究し支援する**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとつづくり
②政策目標	2 次世代をはぐくむ教育力に富んだまち
③施策目標	9 子どもの健やかな育ちを促す教育を研究し支援する
④施策の方向性	1 子どもの成長発達についての調査・研究 2 教育課題についての調査・研究 3 教職員の研修機会の提供と学校の支援 4 質の高い授業づくりの支援 5 相談・支援体制の充実

2. 施策目標の達成方針

茅ヶ崎市教育基本計画の施策9教育課題を明らかにする調査・研究の推進を目指して、幼児期から成長過程の中で、どのような経験をする事が豊かな人間性と自律性をはぐくむことにつながっていくのか、教育的側面から研究します。
子どもの学習や生活状況を把握し、幼児期の教育のあり方など教育課題の調査・研究を進め、学校教育と社会教育の新たな取り組みの展開につなげます。
児童・生徒の学び続ける意欲と豊かな人間性をはぐくむために必要な教育者としての資質や指導力向上に向けた研修機会の提供と学校支援を実施します。
学習内容・指導方法に関する実践的な授業研究を踏まえ、質の高い授業の実践を目指した学校づくりを実現するための研修を展開します。
子どもたちが抱える問題や課題の解決のために必要な相談・支援体制を充実します。特に、教育相談について、相談者のニーズに応じた総合的、横断的な取り組みができる体制を構築します。

3. 職員配置の状況

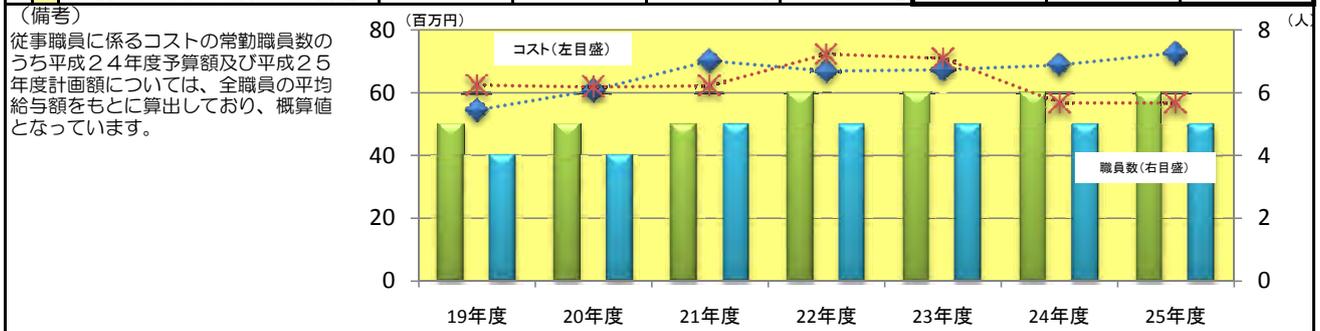
(24年3月31日現在)

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1		所長	1年 月	16			年 月
2	研究研修担当	所長補佐・指導主事A	3年 月	17			年 月
3	研究研修担当	所長補佐・指導主事B	2年 月	18			年 月
4	研究研修担当	主査・社会教育主事	2年 月	19			年 月
5	研究研修担当・青少年教育相談担当	所長補佐	4年 3月	20			年 月
6	青少年教育相談担当	所長補佐・指導主事	1年 月	21			年 月
7			年 月	22			年 月
8			年 月	23			年 月
9			年 月	24			年 月
10			年 月	25			年 月
11			年 月	26			年 月
12			年 月	27			年 月
13			年 月	28			年 月
14			年 月	29			年 月
15			年 月	30			年 月
職員数計	6名（うち常勤 6名・再任用 0名）外	非常勤嘱託 3名・臨時 2名・その他 名					

4. 施策推進コスト

(単位：事業、職員1人 千円/職員数人)

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	116,922	122,627	132,386	139,184	138,203	125,496	129,382
財源内訳							
特定国庫支出金	3,286	4,788	3,462				
地方債							
その他							
一般財源	113,636	117,839	128,924	139,184	138,203	125,496	129,382
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)	54,529	60,769	70,153	66,899	67,256	68,765	72,651
うち委託料	212	212	811	265	327	372	372
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)	62,393	61,858	62,233	72,285	70,947	56,731	56,731
常勤職員数 (棒グラフ左)	5	5	5	6	6	6	6
再任用職員数 (棒グラフ中)							
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)	4	4	5	5	5	5	5



5. 施策目標の達成状況

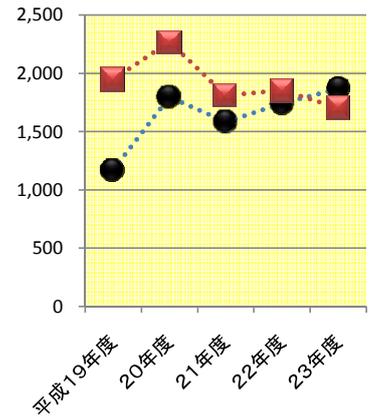
No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
				—	—	—	—	目標値
				現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
1	教育関係職員の研修等の参加者数	人	—	—	—	—	—	2,000
			1,583	1,741	1,867	1,900	2,000	100.0%
			—	—	68.1%	76.0%	—	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 各教育委員会への聞き取り

団体名\年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	1,172	1,795	1,583	1,741	1,867
■県内A市	1,946	2,269	1,808	1,853	1,702
▲県内B市	同様の研修や講座については、両市とも実施していますが、参加者が教育関係職員かどうかの確認を行っていないため個別の状況を把握することができません。				
◆県内C市	同様の研修や講座については、両市とも実施していますが、参加者が教育関係職員かどうかの確認を行っていないため個別の状況を把握することができません。				
*					

(指標の進捗状況分析)

平成20年度は、3年及び4年経験者研修の追加や学習指導講座の開催数増による影響で大きく伸びました。教育研究所から平成22年度に教育センターとなり、業務変更等による研修内容の変化が参加者数に反映されています。今後は、平成24年度からの初任者研修をはじめとする基本研修体系の見直しの中で、さらに、経験の短い教員の人材育成に向けた研修機会の提供を図ります。



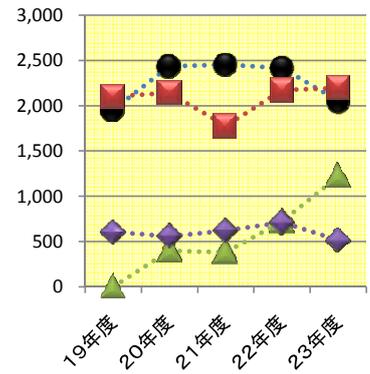
No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
				—	—	—	—	目標値
				現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
2	青少年教育相談室の相談件数	件	—	—	—	—	—	1,900
			2,453	2,416	2,055	1,900	1,900	100.0%
			—	—	72.0%	100.0%	—	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 各教育委員会への聞き取り

団体名\年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
●茅ヶ崎市	1,957	2,436	2,453	2,416	2,055	
■県内A市	2,102	2,138	1,775	2,170	2,195	
▲県内B市	—	400	382	723	1,220	
(◆県内C市)	605	555	619	711	514	続はカウントせず
*						

(指標の進捗状況分析)

青少年教育相談室の相談件数は、各学校への心の教育相談員の配置(平成18年度から全校)や特別支援教育巡回教育相談の充実等に伴い、平成21年度をピークに減少傾向にあります。相談内容は深刻なものも多く、相談依頼者による相談機関の棲み分けが整理されつつあると考えます。



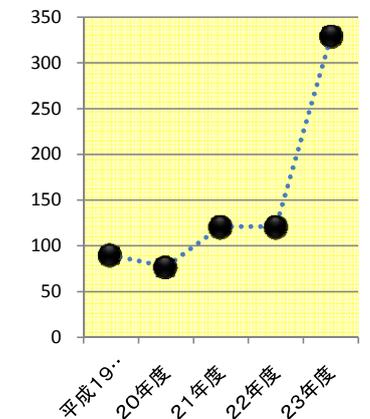
No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
				—	—	—	—	目標値
				現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
3	市民・保護者の講座等の参加者数	人	—	—	—	—	—	250
			121	121	329	250	250	100.0%
			—	—	161.2%	100.0%	—	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 各教育委員会への聞き取り

団体名\年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	90	77	121	121	329
■県内A市	該当なし				
▲県内B市	同様の研修や講座については、両市とも実施していますが、参加者が市民か教育関係職員かどうかの確認を行っていないため個別の状況を把握することができません。				
◆◆県内C市	同様の研修や講座については、両市とも実施していますが、参加者が市民か教育関係職員かどうかの確認を行っていないため個別の状況を把握することができません。				
*					

(指標の進捗状況分析)

教育センター主催の市民・保護者向けの講座等は、これまで限られた回数でしたが、平成23年度以降、子育て中の市民向け講座や教育関係者とともに学ぶという視点からのシンポジウムなど新規に開催し、研修機会を増やしたことにより参加者数は増加傾向にあります。希望制のため講師の著名度等による影響があります。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名 (会計区分)	指標名	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		事業費 決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
事業概要	指標単位	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
		—	現状値	実績値	—	—
		達成率	—	達成率	—	—
1 教育センター研修・相談環境整備事業 (一般会計)	環境整備状況	—	—	499	0	889
教育センターの3階にある理科研修室を整備し、新たに教育相談を主とする「相談室」を設置します。こうして相談室を増設することにより、市民の方々の教育相談ニーズに対応していきます。		整備状況	—	完了新相談室稼働	—	—
		—	—	完了新相談室稼働	—	—
		—	—	達成	—	—
2 子どもたちの学習・生活状況に関する調査研究事業 (一般会計)	児童生徒意識調査実施回数及び対象者数	—	93	71	70	182
平成22年度から開始した「茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査」を引き続き経年調査として実施し、子どもたちの成長に必要な教育のあり方を考える研究資料として活用します。		回	—	1回6,000人	1回6,000人	1回6,000人
		—	1回6,023人	1回6,116人	—	—
		—	—	100%、101.9%	—	—
3 幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業 (一般会計)	基礎研究の公開件数 (セミナー、シンポジウム、講座、会議等)	60	60	142	146	204
平成22年度からの新規事業として、幼児期を中心とした子どもの成長発達についての本質的な研究を進め、その研究成果を踏まえ、教育推進部内への情報提供、こども育成部との連携、教育関係者の研修の機会など横断的、連関的視点をもった事業を展開します。		回	—	—	10	15
		—	—	8	—	—
		—	—	80%	—	—
4 学校内研修支援事業 (一般会計)	学習指導講座開催数	3,498	3,358	3,633	4,040	4,180
児童・生徒の学び続ける意欲と確かな学力をはぐくむために、授業力向上を目的とした「学習指導講座」を開催するとともに、学校内研修が活性化していくための環境整備を進めます。		回	—	—	24	28
		—	—	24	—	—
		—	—	100.0%	—	—
5 心の教育相談拡充事業 (一般会計)	心の教育相談員の勤務日数	18,419	18,768	19,195	19,200	21,120
児童・生徒が安心感、安全感をもちながら楽しく学校生活を過ごせるよう、「心の教育相談員」を各学校に配置し、生活や学習の悩みや困りを相談したいときに気軽に相談できるように教育相談体制を整備します。平成23年度は、新設校に「心の教育相談員」を新たに配置します。		日	—	—	120	120
		—	—	120	—	—
		—	—	100.0%	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている 25年度目標値達成可能 25年度目標値達成困難
② これまでの取り組みと成果	<p>茅ヶ崎市教育センターは、昭和34年に設置された教育研究所を前身とし、平成22年4月、新たな教育機関として誕生しました。半世紀に渡る本市の教育振興を図るために取り組んできた教育課題についての調査研究及び教育関係職員の研修を基盤として、これからの教育課題を系統的かつ総合的にとらえるため、「教育研究」「教育研修」「教育相談」の機能を整理統合し、体系的な教育機関としての役割を担っています。</p> <p>平成23年度より実施した「茅ヶ崎市教育基本計画」の「学びあい響きあう茅ヶ崎の教育を創造する～豊かな人間性と自律性をはぐくむ～」という基本理念の実現を目指し、学校教育と社会教育を含めた次世代の育成にかかわる事業の展開、連携の推進を行っています。</p> <p>特に教育センターとして、新たに取り組み始めた家庭教育や幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業については、大学等の民間の教育機関の研究者等との連携を図り、その研究成果を子育て・子育てを支援する講座の開催など、子どもの健やかな成長のために必要な情報の提供を様々な形で行っていきます。</p> <p>また、平成23年度は、教育相談体制の充実を図るため、心の教育相談員を新設された汐見台小中学校に配置するとともに、教育センター内の理科研修室を相談室に改修することを通して、青少年教育相談室の環境整備を行いました。</p> <p>さらに、平成22年度から開始した「茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査」を引き続き経年調査として実施し、教育基本計画の指標として進行管理に資するとともに、各学校を会場として実施する学習指導講座の開催数を増やすことにより、教員の授業力向上を目指した学校内研修の活性化を支援しています。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>教育センター研修・相談環境整備事業は、平成23年度の相談室の増設を完了し新相談室として稼働し始めました。しかし、研修環境整備という点では、教育指導員室へのLANの整備などが進んでおらず、業務の効率化が課題です。そのため、研修機能については、優先度を見極め、必要最小限にとどめた形で第2次実施計画中の環境整備を目指します。</p> <p>心の教育相談拡充事業は、平成23年度の新設校に1名増員までは達成できましたが、平成24年度以降の勤務日数は、現状維持の状況です。しかしながら、心の教育相談員の相談件数は年々増加傾向にあり、児童・生徒の悩みやストレスを早期に発見し、心に安らぎを与えるといった学校における教育相談体制の充実が必要不可欠と考えます。そこで、第2次実施計画では、目標値を見直し、3年間かけて年間160日(週4日)の勤務日数の拡充を目指します。</p> <p>幼児期の基礎研究・研修事業は、研究の成果を広く子育て中の市民や保育者、教育関係者等に発信する機会として講座や講演活動が求められるため、より市民が安心して参加しやすいように、こども育成部(保育課)や文化生涯学習部(男女共同参画課)と連携し出前講座を12回新規に立ち上げました。そのことによる業務量の増大と集客数の増加に伴う託児サービスが課題ですが、保育園の保育室を会場として少人数で開催することで講師との交流が深まり日々の子育てを振り返る貴重な機会となっているだけでなく、保護者の方が保育士に子育ての悩みを相談するなど自然な交流も生まれ、内容の充実という点では効果も期待できます。今後は各研修のねらいにあった開催形態等について模索するとともに、民間の教育研究機関等との連携のあり方についても検討を進めます。</p> <p>学校内支援事業は、目標達成のための予算化を行い学習指導講座の充実に努めていますが、年々、学校から予定回数を上回る開催要望があり、各学校の校内研修の活性化が図られてきた現れといえます。また、他校の学習指導講座に参加する教員も増加傾向にあり、初任者研修をはじめとする教職経験に応じた選択研修としても活用されています。また、経験の短い教員のための研修を充実させるなど、今後も県立総合教育センター等関係機関や各学校と連携し、教員の質の向上を目指した人材育成を行います。</p> <p>子どもたちの学習・生活状況に関する調査研究事業は、教育基本計画の進行管理の指標としての役割もあるため、経年調査を継続していく必要があり、これまで4月の第3週に実施してきましたが、平成24年度から全国学力・学習状況調査や県学習状況調査と同時期になるのを避け、第2週に早めました。年度初めの多忙な中での準備や周知が課題でしたが、早くから取り組んだため事故無く実施できました。今後もより望ましい形を検討しつつ継続します。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターと社会教育の連携について (平成22年第3回定例会) ・あすなる教室の教育方針について (平成23年第1回予算特別) ・乳幼児期の教育に関する取組のこども育成部との連携や周知について (平成23年第4回定例会) ・藤沢市教育事務委託対象児童・生徒への郷土愛や青少年教育相談室利用への配慮について (平成24年第1回予算特別)

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ) 70,217 66,900 67,256 69,020 68,375

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業	重点事業	60	60	142	146	120
2	一般会計	2	茅ヶ崎郷土資料集編纂刊行事業						0
3	一般会計	2	子どもたちの学習・生活状況に関する調査研究事業	重点事業	0	93	71	70	274
4	一般会計	4	学校内研修支援事業	重点事業	3,498	3,358	3,633	4,040	4,000
5	一般会計	5	教育センター研修・相談環境整備事業		0	0	499		0
6	一般会計	5	心の教育相談拡充事業	重点事業	18,419	18,768	19,195	19,200	19,200
7	一般会計	1	「子どもの教育」講座・講演事業		80	70	70	643	0
8	一般会計	1	教育情報HP等広報事業		0	0	0	0	0
9	一般会計	2	茅ヶ崎教育調査研究推進事業		402	465	426	490	685
10	一般会計	2	調査研究成果の発信啓発事業		0	0	0	0	0
11	一般会計	2	茅ヶ崎教育史研究事業		67	93	72	70	0
12	一般会計	3	教育研究会等交付金事業		5,344	5,435	5,478	5,452	5,479
13	一般会計	3	ICT教育研修用コンピュータ等活用事業		552	343	234	257	247
14	一般会計	4	授業改善に関する調査研究事業		134	185	142	140	0
15	一般会計	4	質の高い授業実践講座事業		160	160	70	35	0
16	一般会計	4	教育センター図書刊行事業		5,522	5,476	4,178	4,588	4,588
17	一般会計	4	茅ヶ崎市創意工夫研究作品展事業		289	306	224	250	248
18	一般会計	4	教育情報・資料収集整理事業		0	0	0	0	0
19	一般会計	4	教育センター・トワイライトセミナー事業		0	0	0	0	0
20	一般会計	4	教育資料・物品 貸出事業		0	0	0	0	0
21	一般会計	4	顕微鏡観察用微生物提供事業		0	0	0	0	0
22	一般会計	5	教育センター研究研修管理運営		3,683	3,926	4,702	4,582	4,228
23	一般会計	2	神奈川県教育研究所連盟関係研究推進事業		31	31	31	41	50
24	一般会計	3	初任者研修等教職員人材育成事業		5,632	5,468	5,629	5,696	5,853
25	一般会計	3	神奈川県立総合教育センター等関係研修推進事業		0	0	0	0	0
26	一般会計	5	教育センター教育相談管理運営		292	373	450	386	384
27	一般会計	5	青少年教育相談事業		11,343	13,760	13,391	13,914	13,948
28	一般会計	5	心の教育相談室管理運営		414	463	536	675	709
29	一般会計	5	スクールカウンセラー活用事業		59	61	58	65	65
30	一般会計	5	あすなろ教室（適応指導教室）事業		7,308	8,006	8,025	8,280	8,297
31	一般会計	0	災害応急対策活動					0	0
32	一般会計	0	庁内共通事務					0	0
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		63,289	66,900	67,256	69,020	68,375

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	特別支援教育巡回相談事業（平成22年度より学校教育指導課へ移管）	6,928		—	—	—
2					—	—	—
3					—	—	—
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
		小計(ウ)	6,928	0	—	—	—

(備考)

--	--	--	--	--	--	--	--